授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	01
授業科目	総合演習Ⅳ（ビジネス行動論）
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	就職活動の心構え・準備内容を理解する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション
達成目標	就職活動対する意識付け及び実践的な演習により、活動の準備を万全に行う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 就職の心構え 2 職業理解 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己分析③ 6 自己分析④ 7 自己分析⑤ 8 自己ＰＲ① 9 自己ＰＲ② 10 志望動機 11 作文・小論文 12 履歴書作成① 13 履歴書作成② 14 一般常識 15 適性検査 16 質疑応答① 17 質疑応答② 18 面接試験 19 面接試験演習① 20 面接試験演習②
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	02
授業科目	総合演習Ｘ（ビジネス文書実務）
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動における自己理解及び履歴書の作成
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	就職活動で使用する履歴書完成
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　就職の心構え 2　就職スケジュール 3　自己ＰＲ、自己分析 4　キャリア・プラン作成補助シート作成（高校時代までの振り返り） 5　キャリア・プラン作成補助シート作成（専門学校時代の振り返り） 6　キャリア・プラン作成補助シート作成（周りから見た自分の印象） 7　キャリア・プラン作成補助シート作成（自分の強みを活かせた経験） 8　キャリア・プラン作成補助シート作成（自己ＰＲの作成） 9　キャリア・プラン作成補助シート作成（口頭で簡潔に話す練習） 10　キャリア・プラン作成補助シート作成（社会人基礎力の評価） 11　応募書類の準備 12　履歴書の具体的な記載内容（氏名～学歴まで） 13　履歴書の具体的な記載内容（資格、趣味、特技） 14　履歴書の具体的な記載内容（自己ＰＲ） 15　履歴書の具体的な記載内容（履歴書完成）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	03
授業科目	総合演習ＸＩ（官庁・企業研究）
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	就職活動における職種理解・業界理解・企業研究に関する学習
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	業界研究・職種研究・病院研究ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 職種研究① 2 職種研究② 3 職種研究③ 4 職種研究④ 5 業界研究① 6 業界研究② 7 業界研究③ 8 業界研究④ 9 病院研究① 10 病院研究② 11 病院研究③ 12 病院研究④ 13 求人票の見方 14 総合実践① 15 総合実践② 16 総合実践③ 17 総合実践④ 18 総合実践⑤ 19 総合実践⑥ 20 総合実践⑦
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	04	
授業科目	総合演習ＸⅢ（特別活動）	
実務家教員授業		
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	２０時間	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	イベントを通じて周りとの協調性を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	イベント活動におけるコミュニケーション力向上	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	スポーツフェスティバル　体育館練習
	2	スポーツフェスティバル　体育館練習
	3	スポーツフェスティバル　体育館練習
	4	スポーツフェスティバル　体育館練習
	5	スポーツフェスティバル　体育館練習
	6	スポーツフェスティバル　体育館練習
	7	スポーツフェスティバル　体育館練習
	8	スポーツフェスティバル　本番
	9	スポーツフェスティバル　本番
	10	スポーツフェスティバル　本番
成績評価方法 （試験実施方法）	出席点100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	05
授業科目	適性検査演習
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	就職試験の適性検査に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	就職試験の適性検査に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国語（語意） 2 国語（文法） 3 国語（長文読解） 4 国語（文学史） 5 数学（数の計算・式の計算） 6 数学（方程式・不等式・関数とグラフ） 7 数学（整数値問題・確率） 8 数学（図形・文章題） 9 社会（地理・政治） 10 社会（経済） 11 社会（日本史・世界史） 12 英語（基本単語） 13 英語（基本熟語） 14 英語（基本文法） 15 言語（基礎）① 16 言語（基礎）② 17 言語（基礎）③ 18 非言語（基礎）① 19 非言語（基礎）② 20 非言語（基礎）③
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	06
授業科目	一般教養
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正② 9 類義語 10 反対語 11 漢字の意味・使い方① 12 漢字の意味・使い方② 13 項目別模擬試験① 14 項目別模擬試験② 15 項目別模擬試験③ 16 直前模擬試験① 17 直前模擬試験② 18 直前模擬試験③ 19 直前模擬試験④ 20 直前模擬試験⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	07
授業科目	医療請求事務Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修１
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	診療録から明細書を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 医療保険制度、医療保険の給付 2 医療事務の仕事、カルテ・レセプトの上書き 3 初診料、初診料レセプト記載法 4 再診料、再診料レセプト記載法 5 医学管理等、医学管理等レセプト記載法 6 投薬料① 7 投薬料②、投薬料レセプト記載法 8 注射料、注射料レセプト記載法 9 処置料、処置料レセプト記載法 10 手術料① 11 手術料②、手術料レセプト記載法 12 検査料① 13 検査料② 14 検査料③、検査料レセプト記載法 15 画像診断料① 16 画像診断料②、画像診断料レセプト記載法 17 処方せん料、処方せん料レセプト記載法 18 レセプト項目別問題① 19 レセプト項目別問題② 20 レセプト項目別問題③ 21 レセプト基礎総合問題① 22 レセプト基礎総合問題② 23 レセプト基礎総合問題③ 24 レセプト基礎総合問題④ 25 レセプト基礎総合問題⑤ 26 レセプト応用問題① 27 レセプト応用問題② 28 レセプト応用問題③ 29 レセプト応用問題④ 30 レセプト応用問題⑤ 31 初・再診料等の復習 32 入院料、入院料レセプト記載法 33 入院基本料加算、入院時食事療養費、レセプト記載法 34 投薬料、注射料、レセプト記載法 35 処置料、処置料、レセプト記載法 36 手術料、手術料、レセプト記載法 37 麻酔料、神経ブロック料 38 麻酔料、神経ブロック料レセプト記載法 39 検査料① 40 検査料② 41 検査料レセプト記載法 42 画像診断料、画像診断料レセプト記載法 43 医学管理等、医学管理等レセプト記載法 44 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料、精神科専門療法料、放射線治療、処方箋料レセプト記載法 45 公費負担医療制度 46 学科問題対策① 47 学科問題対策② 48 レセプト項目別問題① 49 レセプト項目別問題② 50 レセプト項目別問題③ 51 レセプト基礎総合問題① 52 レセプト基礎総合問題② 53 レセプト基礎総合問題③ 54 レセプト基礎総合問題④ 55 レセプト基礎総合問題⑤ 56 レセプト応用問題① 57 レセプト応用問題② 58 レセプト応用問題③ 59 レセプト応用問題④ 60 レセプト応用問題⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	08
授業科目	医療秘書・医療秘書Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修１
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する
教科書	医療秘書（株式会社メディカルエデュケーション）
特記	
授業計画	1 日本の医療制度と特徴 2 病院の組織と運営 3 医療秘書の仕事と役割 4 求められる人物像 5 医療サービスと接遇 6 患者応対の基本 7 患者応対の応用 8 敬語について 9 ビジネス文書と文書作成 10 院外文書の作成 11 院内文書の作成 12 総合演習 13 基礎答案練習問題 14 直前答案練習問題 15 最終確認問題 16 医療サービスと患者接遇① 17 医療サービスと患者接遇② 18 医療秘書の仕事と役割 19 ビジネス文書 20 組織で働くということ 21 患者接遇とコミュニケーション 22 スタッフ間のコミュニケーションづくり 23 職場のルールとマナー 24 個人情報保護法 25 尊敬語と謙譲語 26 敬語と接遇 27 総合演習 28 基礎答案練習問題 29 直前答案練習問題 30 最終確認問題
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	09
授業科目	医療関連法規Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修１
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	医療法、各種保険法の基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	医療関連法規における基礎的な知識を理解する
教科書	医療関連法規第2版（建帛社）
特記	
授業計画	1 健康保険法 2 保険の種類 3 療養の給付および入院食事療養費など 4 保険給付 5 日雇特例被保険者制度 6 船員保険法 7 各種共済組合法 8 国民健康保険法 9 高額療養費支給制度 10 総合演習 11 基礎答案練習問題① 12 基礎答案練習問題② 13 直前答案練習問題① 14 直前答案練習問題② 15 最終確認問題 16 医療保険制度 17 医療施設関連法規 18 医療従事者関係各法 19 復習 20 労災保険制度 21 年金・自動車損害賠償責任保険法 22 後期高齢者医療制度 23 介護保険制度 24 公費負担医療制度 25 総合演習 26 基礎答案練習問題① 27 基礎答案練習問題② 28 直前答案練習問題① 29 直前答案練習問題② 30 最終確認問題
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	10
授業科目	医学基礎知識Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修１
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	基礎的な体の構造、疾病の知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基礎的な医学知識について理解する
教科書	ＤＭＴ Disease & Medicinal therapy（株式会社 薬ゼミ情報教育センター）
特記	
授業計画	1 脳の仕組みと働き 2 脳の疾患と治療 3 眼の仕組みと臨床検査 4 眼科の疾病と治療 5 神経系の仕組みと働き 6 神経科領域の疾病と治療 7 耳鼻咽喉科領域の仕組み 8 耳鼻咽喉科の疾病と治療 9 循環器系の仕組みと働き 10 循環器系の疾病と治療 11 皮膚の仕組みと臨床検査 12 皮膚の疾病と治療 13 基礎答案練習問題 14 直前答案練習問題 15 最終確認問題 16 呼吸器系の仕組みと働き 17 呼吸器系の疾病と治療 18 消化器系の仕組みと働き① 19 消化器系の仕組みと働き② 20 消化器系の疾病と治療① 21 消化器系の疾病と治療② 22 骨格・筋系の仕組みと働き 23 骨格・筋系の疾病と治療 24 代謝・内分泌系の仕組みと働き 25 代謝・内分泌系の疾病と治療 26 体液・血液系の仕組みと働き 27 体液・血液系の疾病と治療 28 基礎答案練習問題 29 直前答案練習問題 30 最終確認問題
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	11
授業科目	病院管理論Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修１
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	病院の各部門の役割を理解するために基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	病院のマネジメントにおける基礎的な知識を理解する
教科書	病院のマネジメント（建帛社）
特記	
授業計画	1 病院の目的と機能 2 診療部門 3 看護部門 4 副診療技術部門 5 薬剤部門 6 栄養・給食部門 7 臨床試験センター 8 人間関係のマネジメント 9 事務部門 10 総合演習 11 基礎答案練習問題① 12 基礎答案練習問題② 13 直前答案練習問題① 14 直前答案練習問題② 15 最終確認問題
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	12
授業科目	医療概論
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	医学と医療制度の成り立ちを知る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	医療の社会的役割を理解する
教科書	診療情報管理Ｉ基礎・医学編（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 医療と医学① 2 医療と医学② 3 医療の倫理① 4 医療の倫理② 5 社会保障制度① 6 社会保障制度② 7 医療関連法規 8 公衆衛生
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	13
授業科目	人体構造・機能論
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	人体の基本的な仕組みや働きを理解する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人体の構造を把握し、各臓器の役割を理解する
教科書	診療情報管理Ｉ基礎・医学編（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1　人体の仕組み：構造① 2　人体の仕組み：構造② 3　人体の仕組み：構造③ 4　人体の仕組み：構造④ 5　人体の働き：機能① 6　人体の働き：機能② 7　人体の働き：機能③ 8　人体の働き：機能④
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	14
授業科目	臨床医学総論
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	先天性の疾病や損傷、中毒及びその他の外因による疾病について学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	各種疾病の概要、検査方法を理解する
教科書	診療情報管理Ⅰ基礎・医学編（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1　神経系、眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形 2　循環器系、呼吸器系、呼吸器系の先天奇形 3　尿路系、筋骨格系、その他の先天奇形 4　染色体異常 5　頭部、頸部の損傷 6　上肢、下肢の損傷 7　薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒 8　損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	15
授業科目	臨床医学各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	各疾病の特徴、症状、診断法、治療法等の基本的知識を修得する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
教科書	診療情報管理Ⅰ基礎・医学編（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 感染症および寄生虫症①　感染症総論（1）分類 2 感染症および寄生虫症②　感染症総論（2）伝染性感染症と医療体制 3 感染症および寄生虫症③　感染症総論（3）日和見感染症 4 感染症および寄生虫症④　感染症総論（4）性感染症 5 感染症および寄生虫症⑤　感染症各論（1）通常見られる感染症１ 6 感染症および寄生虫症⑥　感染症各論（2）通常見られる感染症２ 7 感染症および寄生虫症⑦　感染症各論（3）寄生虫疾患１ 8 感染症および寄生虫症⑧　感染症各論（4）寄生虫疾患２ 9 新生物①　新生物とは：その定義 10 新生物②　新生物の種類：部位、症状等（1） 11 新生物③　新生物の種類：部位、症状等（2） 12 新生物④　悪性新生物と良性新生物 13 新生物⑤　検査方法、識別方法（1） 14 新生物⑥　検査方法、識別方法（2） 15 新生物⑦　治療、臨床検査等 16 血液・代謝・内分泌等①　血液および造血器疾患（1） 17 血液・代謝・内分泌等②　血液および造血器疾患（2） 18 血液・代謝・内分泌等③　膠原病・リウマチ性疾患（1） 19 血液・代謝・内分泌等④　膠原病・リウマチ性疾患（2） 20 血液・代謝・内分泌等⑤　代謝性疾患（1） 21 血液・代謝・内分泌等⑥　代謝性疾患（2） 22 血液・代謝・内分泌等⑦　内分泌疾患（1） 23 血液・代謝・内分泌等⑧　内分泌疾患（2） 24 精神・脳神経・感覚器等①　中枢神経と末梢神経（1） 25 精神・脳神経・感覚器等②　中枢神経と末梢神経（2） 26 精神・脳神経・感覚器等③　脳疾患・脳血管疾患（1） 27 精神・脳神経・感覚器等④　脳疾患・脳血管疾患（2） 28 精神・脳神経・感覚器等⑤　感覚器疾患（1） 29 精神・脳神経・感覚器等⑥　感覚器疾患（2） 30 精神・脳神経・感覚器等⑦　精神および行動の障害（1）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	16
授業科目	臨床医学各論Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	各疾病の特徴、症状、診断法、治療法等の基本的知識を修得する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
教科書	診療情報管理Ⅰ基礎・医学編（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 循環器疾患①　心臓疾患：先天性心疾患、冠動脈疾患 2 循環器疾患②　心臓疾患：不整脈、特発性心筋症 3 循環器疾患③　血圧異常：本態性高血圧、二次性高血圧 4 循環器疾患④　血管疾患：脳血管疾患、末梢動脈疾患 5 循環器疾患⑤　血管疾患：静脈疾患、肺動脈疾患 6 呼吸器疾患①　感染症 7 呼吸器疾患②　呼吸不全 8 呼吸器疾患③　換気障害 9 消化器疾患① 10 消化器疾患② 11 肝臓・胆嚢・膵臓疾患① 12 肝臓・胆嚢・膵臓疾患② 13 腎臓疾患① 14 腎臓疾患② 15 泌尿器系疾患① 16 泌尿器系疾患② 17 妊婦と出産① 18 妊婦と出産② 19 正常分娩と異常分娩① 20 正常分娩と異常分娩② 21 女性特有の疾患① 22 女性特有の疾患② 23 新生児特有の疾患 24 運動機能の疾患① 25 運動機能の疾患② 26 筋肉の疾患① 27 筋肉の疾患② 28 骨の疾患① 29 骨の疾患② 30 皮膚疾患
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	17
授業科目	医学・医療用語
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	医療機関で使用される用語について学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	用語を理解し、専門分野でのコミュニケーションを図る
教科書	診療情報管理Ⅱ基礎・医学・医療用語編（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 医学用語の基礎① 2 医学用語の基礎② 3 解剖・機能の用語 4 症状・症候の用語① 5 症状・症候の用語② 6 検査の用語 7 診断の用語 8 治療の用語
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	18
授業科目	医療管理総論
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	「人的資源」「物的資源」「財的資源」を具体的に理解する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	医療の実務に対応するための知識を充実させる
教科書	診療情報管理Ⅲ専門１章～７章（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1　医療管理総論①　診療情報管理と診療情報管理士 2　医療管理総論②　医療資源 3　医療管理総論③　日本の医療制度（1）医療保障 4　医療管理総論④　日本の医療制度（2）医療制度の特徴と成り立ち 5　医療管理総論⑤　日本の医療制度（3）諸外国の医療制度、国民医療費の現状と将来 6　医療管理総論⑥　医療の需要と供給 7　医療管理総論⑦　地域医療（医療供給体制） 8　医療管理総論⑧　医療関連の法規定
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	19
授業科目	医療管理各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	４５時間
授業コマ数	２３コマ
授業概要	病院を適正に維持、運営していくうえで重要な項目について基礎的な知識を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	さまざまな医療専門職を有効に結びつけるために医療管理の必要性を理解し、診療情報管理士として学んだことを生かす応用的な業務の知識を深める
教科書	診療情報管理Ⅲ専門１章～７章（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1　病院の経営管理①　病院経営管理 2　病院の経営管理②　組織と機能・管理と組織 3　病院の経営管理③　財務・経営・人事・労務・施設管理 4　医療管理①　医療・診療・看護部門 5　医療管理②　教育研究・診療情報管理・事務部門 6　医療管理③　施設・機器維持管理・労働安全衛生部門 7　チーム医療①　チーム医療とは 8　チーム医療②　チーム医療の主な活動・チーム医療の推進 9　医療保険制度①　医療保険の種類と保険給付・保険給付外 10　医療保険制度②　診療報酬制度 11　医療保険制度③　保険診療と医療費の支払いの仕組み・診療報酬の請求 12　わが国の診断群分類①　ケースミックス区分法と診断群分類 13　わが国の診断群分類②　診断群分類誕生の背景 14　わが国の診断群分類③　ＤＰＣ・ＤＰＣと包括評価 15　介護保険制度の概要 16　安全管理①　医療安全概論・医療におけるリスクマネジメント 17　安全管理②　ヒューマンエラー・医療事故と医療過誤、医事紛争 18　医療の質管理①　医療の質と保証・チーム医療における診療情報共有 19　医療の質管理②　医療のマネジメントシステム・医療の質の評価と公表 20　診療情報管理における診療報酬請求データの活用①　医療マーケティング 21　診療情報管理における診療報酬請求データの活用②　診療情報管理におけるデータの活用 22　診療情報管理における診療報酬請求データの活用③　電子カルテと医事会計データ 23　診療情報管理における診療報酬請求データの活用④　診療情報管理データと医事会計データ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	20
授業科目	保健医療情報学
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	ITを活用した診療情報がいかに医療の質の向上に貢献しているか知る
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	診療データ・診療情報を有効かつ的確に処理する仕組みを理解する
教科書	診療情報管理Ⅲ専門１章～７章（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1　医療情報学とは・医療情報の特徴と種類 2　情報とシステム・ITの基礎 3　行政の動向に見る医療情報化の流れ 4　医療情報システム 5　医療情報の標準化の動向 6　意思決定支援 7　医療データの評価 8　情報セキュリティ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	21
授業科目	医療統計Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	①診療情報の収集、整理、集計、分析を行い判断を下す資料作成の重要性を知る ②グラフ表現や一般的に用いられる病院統計、疾病統計について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	診療情報を活用する手段として、データ処理の基礎を身につける
教科書	診療情報管理Ⅲ専門１章～７章（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1　統計的方法 2　データの要約 3　統計学的推測の基礎①　母集団と標本の考え方・母集団の特徴に関する記述 4　統計学的推測の基礎②　正規分布・母平均の区間推定 5　統計的仮設検定 6　仮設検定にともなう２種類の誤り 7　よく使う検定手法 8　２つの量的変数の関係 9　データのグラフ表現①　データの視覚化 10　データのグラフ表現②　各種のグラフとその用途 11　病院の統計資料①　病院統計の作成とその意義 12　病院の統計資料②　主な統計調査と評価指標 13　病院の統計資料③　主な医療評価指標 14　病院の統計資料④　経営管理指標 15　臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	22
授業科目	診療情報管理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	４５時間
授業コマ数	２３コマ
授業概要	診療情報管理の意義、診療情報管理士の役割や実務について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則等の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅳ専門８章～１２章（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 診療情報管理の意義と役割①　用語の定義・診療記録の価値 2 診療情報管理の意義と役割②　診療情報管理の役割 3 診療情報管理の歴史 4 診療情報管理と法規等①　診療記録の記載と保存・電子化等に関する法規 5 診療情報管理と法規等②　医療事故にともなう法的責任・ 診療情報の守秘に関する法規・個人情報の保護に関する法規 6 診療情報管理と法規等③　個人情報の取り扱い、診療情報の提供等 7 診療記録の記載方式 8 診療情報の記載 9 診療情報管理士について 10 診療情報管理士の基本業務 11 個人情報保護の視点からの保管管理 12 紙カルテ運用における診療情報管理 13 電子カルテ運用における診療情報管理 14 診療情報の提供に係る業務 15 診療情報管理士による改善への取り組み 16 診療情報管理士の活動組織 17 DPC制度と実務①　DPCと診療情報管理士の関わり 18 DPC制度と実務②　病院指標の公開と診療情報管理士 19 DPC制度と実務③　データ精度と診療情報管理士 20 医師事務作業補助者の業務①　医師事務作業補助者の業務と体制 21 医師事務作業補助者の業務②　医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり 22 がん登録の実務について 23 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB)について
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	23	
授業科目	国際統計分類Ⅰ・Ⅱ	
実務家教員授業	○	授業担当者：医療現場での実務経験を持つ診療情報管理士指導者
		実務経験及び授業との関連性：診療情報管理士指導者の経験を活かし、日本病院会が規定する診療情報管理士専門科目の知識を身につけるための指導を行う。
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修２	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	人口動態統計や国際統計分類ファミリーについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	ICDの構造をはじめ、診療情報管理士としての活用方法を身につける	
教科書	診療情報管理Ⅳ専門８章～１２章（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	国際疾病分類論①　国際疾病分類の歴史
	2	国際疾病分類論②　国際疾病分類の現状
	3	国際疾病分類論③　国際疾病分類の構造
	4	国際統計分類ファミリー論
	5	国際疾病分類の利用①　原死因選択ルール
	6	国際疾病分類の利用②　主要病態のコーディングと再選択ルール
	7	国際疾病分類の利用③　診断群分類における国際疾病分類の利用
	8	国際疾病分類①　ＩＣＤ-１０準拠の概説
	9	国際疾病分類②（ＩＣＤ）編さんの基準とその特徴
	10	国際疾病分類③　内容例示表と索引表の使用方法
	11	国際統計分類①　複数病態分類・複合病態分類及び二重分類
	12	国際統計分類②　内容例示表・索引表で用いられている表示記号と符合
	13	国際疾病分類④　用語の定義及び傷病名の構成
	14	国際疾病分類⑤　傷病名のコード索引方法
	15	国際疾病分類⑥　コーディング支援ソフトウェアの利用
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	24	
授業科目	診療情報管理士試験対策Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修２	
授業方法	演習	
授業時間	１８０時間	
授業コマ数	９０コマ	
授業概要	診療情報管理士に求められる基礎知識の理解を深める	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	疾患の特徴や法令・規則等の根拠を説明できるようにする	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～10	基礎答練（基礎分野）1～10
	11～20	基礎答練（基礎分野）11～20
	21～30	基礎答練（基礎分野）21～30
	31～40	基礎答練（基礎分野）31～40
	41～50	基礎答練（専門分野）1～10
	51～60	基礎答練（専門分野）11～20
	61～70	基礎答練（専門分野）21～30
	71～80	基礎答練（専門分野）31～40
	81～90	基礎答練（総合分野）1～10
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	25
授業科目	秘書実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療管理１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修３
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	来客者に対する応対マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	全年齢層に対する適切な対応ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト、保育所保育指針
特記	
授業計画	1　社会人としてのマナー（言葉遣い、態度） 2　社会人としてのマナー（表情、アイコンタクト） 3　社会人としてのマナー（挨拶、お辞儀） 4　社会人としてのマナー（挨拶の基本フレーズ） 5　立ち居振る舞い、聞く聴く 6　来訪者に対する受付の流れ 7　基本応対事例の確認及びトレーニング 8　確認テスト 9　マニュアルにとらわれない自然な声掛け、聴く姿勢 10　メモの取り方 11　来客受付の一連の流れ 12　来客応対　実技演習① 13　来客応対　実技演習② 14　来客応対　効果測定① 15　来客応対　効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	受講態度（出席・提出課題）と学期末試験により行う
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	26
授業科目	医学と疾病
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修３
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	人体の基本的な仕組みや働き及び疾病について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	人体構造の基礎と子どものかかりやすい疾病を理解する
教科書	子どもの健康と安全、厚生労働省が発信する関連ガイドライン
特記	
授業計画	1 人体の仕組み：構造① 2 人体の仕組み：構造② 3 人体の仕組み：構造③ 4 人体の仕組み：構造④ 5 人体の働き：機能① 6 人体の働き：機能② 7 人体の働き：機能③ 8 人体の働き：機能④ 9 疾病予防の基本 10 主な疾病と対応① 11 主な疾病と対応② 12 主な疾病と対応③ 13 主な疾病と対応④ 14 主な疾病と対応⑤ 15 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	出席状況・技術テスト・筆記試験などを総合して評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	27
授業科目	小児援助技術Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	1 授業の目標、計画、評価について 2 乳児保育の重要性と意義 3 多様化する保育ニーズと保育政策の動向 4 乳幼児の発達の原理と保育 5 赤ちゃんの誕生と新生児反射 6 乳幼児期の基本的生活習慣 7 乳幼児期のことばの発達 8 乳幼児期の運動機能の発達 9 乳幼児期の精神機能の発達 10 乳幼児期の遊びの重要性 11 乳幼児期の母子関係の重要性 12 乳幼児期の健康、衛生、安全 13 保育者の専門性(魅力ある保育士とは) 14 保育士に求められる資質、能力、技術について 15 定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験の実施とレポート課題
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	28
授業科目	小児援助技術Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	小児援助技術Ｉで学んだ基礎を基に、自ら乳児、幼児とのかかわり方を考える
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	自ら対応方法の計画を立て対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	1 授業の目標、計画、評価について 2 乳児期における保育の基本 3 保育所の一年 4 ０歳児の特徴 5 １歳児の特徴 6 ２歳児の特徴 7 子ども同士の関係・ものとの関係 8 子どもの安全と健康 9 子どものあそびと環境① 10 子どもの遊びと環境② 11 保育をめぐる状況① 12 保育をめぐる状況② 13 保護者とのコミュニケーション 14 保育者の専門性 15 定期試験
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験の実施とレポート課題
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	29
授業科目	小児心理学
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修３
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	１．子どもの心身の発達と保育実践について理解を深める ２．生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する ３．保育における発達援助について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション
達成目標	積極的な授業参加の態度を望みたい
教科書	「保育に生かす教育心理学」（株）みらい
特記	
授業計画	1 講義の進め方と内容の説明 2 子どもの発達と保育実践① 3 子どもの発達と保育実践② 4 子どもの発達と保育実践③ 5 子どもの発達と保育実践④ 6 子どもの発達と保育実践⑤ 7 子どもの発達と保育実践⑥ 8 生活や遊びを通した学びの過程① 9 生活や遊びを通した学びの過程② 10 生活や遊びを通した学びの過程③ 11 保育における発達援助① 12 保育における発達援助② 13 保育における発達援助③ 14 保育における発達援助④ 15 まとめと評価
成績評価方法 （試験実施方法）	受講態度（出席・提出課題）と学期末試験により総合評価を行う。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	30
授業科目	養護内容
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修３
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 児童養護の現状と課題 2 里親による養護 3 施設養護と自立支援１ 4 施設養護と自立支援２ 5 障がい児施設での支援１ 6 障がい児施設での支援２ 7 成人障がい者への支援 8 地域療育システム 9 情緒障害・非行のある子どもの特徴 10 情緒障害・非行のある子どもへの支援 11 子育て支援の施策 12 家族・家庭の支援 13 地域への支援 14 子育てネットワークと地域の連携 15 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	授業の出席状況、レポート及びテストによって評価を行う。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	31	
授業科目	施設実習	
実務家教員授業	○	授業担当者：各施設（幼稚園等）における実習指導者
		実務経験および授業との関連性：施設（幼稚園等）での職務を学生に教える科目であり、学習内容が教員の業務内容となっている。
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修３	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	８０時間	
授業コマ数	４０コマ	
授業概要	施設職員（幼稚園等）として必要な基礎知識や基礎技術を学び、現場で学べる貴重な時間であることを意識し、積極的に質問等行い学びを深めていく	
授業の進め方	施設職員の指導を基に実践的な知識や技術を学ぶ。	
達成目標	施設職員の業務内容を理解し、実践できるようになる	
教科書		
特記		
授業計画	1	現場実習（オリエンテーション）①
	2～4	現場実習（見学・観察）①
	5～8	現場実習（見学・観察）②
	9～12	現場実習（見学・観察）③
	13～16	現場実習（参加体験）①
	17～20	現場実習（参加体験）②
	21～24	現場実習（参加体験）③
	25～28	現場実習（参加体験）④
	29～32	現場実習（部分実習）①
	33～36	現場実習（部分実習）②
	37～40	現場実習（部分実習）③
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況。	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	32
授業科目	実習指導
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	①施設実習（幼稚園等）に向けての基本的な注意事項や礼儀、心構え等はもちろん、円滑に進めるための知識・技術・態度について学ぶ ②実習中課題を持って取り組むことの大切さについて触れていく
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	外部に出る準備にあたり、社会人として行動できるよう意識を持てるようにする
教科書	
特記	
授業計画	1　実習の概要・意義・目的について 2　実習先について① 3　実習先について② 4　実習先について③ 5　実習生としての心構えについて 6　実習生マナーについて① 7　実習生マナーについて② 8　実習生マナーについて③ 9　実習計画について 10　実習計画に基づく保育実践 11　考察について① 12　考察について② 13　日誌・記録の取り方について① 14　日誌・記録の取り方について② 15　効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定にて評価を行う。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	33
授業科目	小児援助実践Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	1 乳児・幼児研究① 2 乳児・幼児研究② 3 乳児・幼児研究③ 4 乳児・幼児研究④ 5 乳児とのかかわり① 6 乳児とのかかわり② 7 幼児とのかかわり① 8 幼児とのかかわり② 9 乳児に合わせた対応計画の作成① 10 乳児に合わせた対応計画の作成② 11 幼児に合わせた対応計画の作成① 12 幼児に合わせた対応計画の作成② 13 乳児・幼児の対応計画に基づく演習① 14 乳児・幼児の対応計画に基づく演習② 15 乳児・幼児の対応計画に基づく演習③
成績評価方法 （試験実施方法）	期末に実施するテスト、および受講態度等を加味しながら評価を行う。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	34
授業科目	小児援助実践Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの集団対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	1 デイリープログラムについて 2 朝のお集まりの実践 3 導入について（指導案作成） 4 導入について（実践） 5 主な活動について1（指導案作成） 6 主な活動について2（指導案作成） 7 主な活動について（実践） 8 評価・反省・改善 9 一斉・自由・横割り・担当制について 10 モンテッソーリ教育 11 コダーイ保育 12 シュタイナー教育 13 設定保育の実践 14 設定保育の実践 15 設定保育の実践
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への取り組みを考慮し、提出物、出席状況で評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	35
授業科目	小児援助実践Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	環境ごとの乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	環境の特徴を生かした乳児・幼児のかかわり方を身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 小児に必要な環境構成 2 健康に配慮した環境とは 3 安心・安全な環境とは 4 異年齢の集団に対する援助実践 5 屋内での援助実践① 6 屋内での援助実践② 7 屋内での援助実践③ 8 屋内での援助実践④ 9 屋外での援助実践① 10 屋外での援助実践② 11 屋外での援助実践③ 12 屋外での援助実践④ 13 屋外での援助実践⑤ 14 季節を考慮した援助実践① 15 季節を考慮した援助実践②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への取り組みを考慮し、提出物、出席状況で評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	36
授業科目	音楽療法
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	①音楽を通し、表現するということの情操を養うことを目的に、ピアノ、電子楽器等を用い、鍵盤奏法の入門から応用にいたるまでの技術を習得する。 ②保育現場で必要な鍵盤楽器の基礎的な知識及び技術等を学ぶとともに、音楽経験の有無、技術レベルに合わせて学習する。
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	ピアノ技術を獲得し保育園で使用できるレパートリーを増やしてほしい。
教科書	「ブルグミュラー２５の練習曲」全音 「やさしく弾ける保育名歌ピアノ曲集」ドレミ楽譜 「こどものうた」チャイルド本社 「続こどものうた」チャイルド本社
特記	
授業計画	1 振り返りと練習の進め方について 2 個人指導（梅雨のうた） 3 個人指導（手遊び・遊びうた） 4 個人指導（アラベスク・パストラル・無邪気より選択） 5 個人指導（曲の表現力を身に付ける） 6 個人指導（試験に向けて最終的な曲の仕上げの練習） 7 個人指導（試験のためのリハーサル） 8 コンサート形式による実技試験 9 個人指導（夏のうた） 10 個人指導（生活のうた） 11 個人指導（試験曲の決定） 12 個人指導（試験曲の練習） 13 個人指導（緊張感を持って弾く練習をする） 14 個人指導（試験に向けて最終的な曲の仕上げの練習） 15 コンサート形式による実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	出欠状況・受講態度・試験で行う。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	37
授業科目	音楽療法Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	①音楽を通し、表現するということの情操を養うことを目的に、ピアノ、電子楽器等を用い、鍵盤奏法の入門から応用にいたるまでの技術を習得する。 ②保育現場で必要な鍵盤楽器の基礎的な知識及び技術等を学ぶとともに、音楽経験の有無、技術レベルに合わせて学習する。
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	ピアノ技術を獲得し保育園で使用できるレパートリーを増やしてほしい
教科書	「ブルグミュラー２５の練習曲」全音 「やさしく弾ける保育名歌ピアノ曲集」ドレミ楽譜 「こどものうた」チャイルド本社 「続こどものうた」チャイルド本社
特記	
授業計画	1　振り返りと練習の進め方について 2　個人指導（冬のうた） 3　個人指導（生活のうた） 4　個人指導（試験曲の決定） 5　個人指導（試験曲の練習） 6　個人指導（緊張感を持って弾く練習をする） 7　個人指導（試験に向けて最終的な曲の仕上げの練習） 8　コンサート形式による実技試験 9　個人指導（春のうた） 10　個人指導（生活のうた） 11　個人指導（試験曲の決定） 12　個人指導（試験曲の練習） 13　個人指導（完成度を高められるよう練習をする） 14　個人指導（試験に向けて最終的な曲の仕上げの練習） 15　コンサート形式による実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	出欠状況・受講態度・試験で行う。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	38
授業科目	総合演習Ⅱ（漢字）
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	検定試験に合格するための基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	検定試験に合格するための基礎知識を習得
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1　漢字３級日々プリント1～5 2　漢字３級日々プリント6～10 3　漢字３級日々プリント11～15 4　漢字３級日々プリント16～20 5　漢字３級日々プリント21～25 6　漢字３級日々プリント26～30 7　漢字３級日々プリント31～35 8　漢字３級日々プリント36～40 9　漢字３級日々プリント41～45 10　漢字３級確認テスト①～③ 11　漢字３級確認テスト④～⑦ 12　漢字３級確認テスト⑧～⑪ 13　漢字３級項目別問題① 14　漢字３級項目別問題② 15　漢字３級項目別問題③ 16　漢字３級直前模試① 17　漢字３級直前模試② 18　漢字３級直前模試③ 19　漢字３級直前模試④ 20　漢字３級直前模試⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	39
授業科目	総合演習Ⅲ（計算技能）
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	電卓を使用した計算技能に関する学習
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	電卓検定に合格できる技能の取得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識 2 キータッチの練習① 3 キータッチの練習② 4 キータッチの練習③ 5 加減算演習① 6 加減算演習② 7 加減算演習③ 8 加減算演習④ 9 加減算演習⑤ 10 乗除算演習① 11 乗除算演習② 12 乗除算演習③ 13 乗除算演習④ 14 乗除算演習⑤ 15 伝票算演習① 16 伝票算演習② 17 伝票算演習③ 18 伝票算演習④ 19 伝票算演習⑤ 20 検定問題演習① 21 検定問題演習② 22 検定問題演習③ 23 検定問題演習④ 24 検定問題演習⑤ 25 検定問題演習⑥ 26 検定問題演習⑦ 27 検定問題演習⑧ 28 検定問題演習⑨ 29 検定問題演習⑩ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	40	
授業科目	病院実習Ⅰ	
実務家教員授業	○	授業担当者：各医療機関における実習指導者
		実務経験及び授業との関連性：医療事務の経験を積んだ現場職員を通じて、実務に必要な患者対応、医療費の算定、請求業務等、一連の業務を学び身に付けさせる。
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	７０時間	
授業コマ数	３５コマ	
授業概要	病院にて医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	病院内で行う医療事務の職業内容を理解する	
教科書		
特記		
授業計画	1	現場実習（患者案内）①
	2	現場実習（患者案内）②
	3	現場実習（患者案内）③
	4	現場実習（患者案内）④
	5	現場実習（初診受付）①
	6	現場実習（初診受付）②
	7	現場実習（初診受付）③
	8	現場実習（初診受付）④
	9	現場実習（再診受付）①
	10	現場実習（再診受付）②
	11	現場実習（再診受付）③
	12	現場実習（再診受付）④
	13	現場実習（会計受付）①
	14	現場実習（会計受付）②
	15	現場実習（会計受付）③
	16	現場実習（会計受付）④
	17	現場実習（入退院受付）①
	18	現場実習（入退院受付）②
	19	現場実習（入退院受付）③
	20	現場実習（入退院受付）④
	21	現場実習（総合受付）①
	22	現場実習（総合受付）②
	23	現場実習（総合受付）③
	24	現場実習（総合受付）④
	25	現場実習（外来クラーク）①
	26	現場実習（外来クラーク）②
	27	現場実習（外来クラーク）③
	28	現場実習（外来クラーク）④
	29	現場実習（病棟クラーク）①
	30	現場実習（病棟クラーク）②
	31	現場実習（病棟クラーク）③
	32	現場実習（病棟クラーク）④
	33	現場実習（診療情報管理室）①
	34	現場実習（診療情報管理室）②
	35	現場実習（診療情報管理室）③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	41	
授業科目	診療情報管理実習Ⅰ	
実務家教員授業	○	授業担当者：各医療機関における実習指導者
		実務経験及び授業との関連性：診療情報管理士の経験を積んだ現場職員を通じて、実務に必要なデータ管理・分析業務、点検業務、コーディング、DPC等、一連の業務を学び身に付けさせる。
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	１４０時間	
授業コマ数	７０コマ	
授業概要	院内での診療情報管理士としての役割を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	病院内で行う医療事務の職業内容を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～10	新患受付業務①～⑩
	11～20	再来受付業務①～⑩
	21～30	外来窓口・庶務業務①～⑩
	31～40	入退院窓口業務①～⑩
	41～50	医師事務作業補助業務①～⑩
	51～70	診療情報管理室業務①～⑳
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	42
授業科目	患者接遇概論
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	患者応対に必要な知識を学習し、対応できるようにする
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）
特記	
授業計画	1 贈答のマナー 2 名刺の受け渡し 3 指示アドバスを受ける 4 院内のコミュニケーション方法 5 電話対応 6 確認テスト（電話） 7 患者気質別の対応方法 8 患者家族への対応 9 入院患者への対応 10 外来患者・救急患者への対応 11 高齢受給者証・後期高齢者医療 12 小児医療証 13 タイプ別　初診ロールプレイ 14 タイプ別　再診ロールプレイ 15 タイプ別　初診・再診　効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	43
授業科目	医療関係法規
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する
教科書	病院のマネジメント（建帛社）
特記	
授業計画	1 健康保険法① 2 健康保険法② 3 健康保険法③ 4 保険の種類① 5 保険の種類② 6 保険の種類③ 7 療養の給付および入院食事療養費など① 8 療養の給付および入院食事療養費など② 9 療養の給付および入院食事療養費など③ 10 保険給付① 11 保険給付② 12 保険給付③ 13 日雇特例被保険者制度① 14 日雇特例被保険者制度② 15 日雇特例被保険者制度③ 16 船員保険法① 17 船員保険法② 18 船員保険法③ 19 各種共済組合法① 20 各種共済組合法② 21 各種共済組合法③ 22 国民健康保険法① 23 国民健康保険法② 24 国民健康保険法③ 25 高額療養費支給制度① 26 高額療養費支給制度② 27 高額療養費支給制度③ 28 復習① 29 復習② 30 復習③
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	44
授業科目	診療報酬請求事務
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 個別対策１ 2 個別対策２ 3 個別対策３ 4 個別対策４ 5 個別対策５ 6 個別対策６ 7 個別対策７ 8 個別対策８ 9 個別対策９ 10 個別対策１０ 11 個別対策１１ 12 個別対策１２ 13 個別対策１３ 14 個別対策１４ 15 個別対策１５ 16 個別対策１６ 17 個別対策１７ 18 個別対策１８ 19 個別対策１９ 20 個別対策２０ 21 個別対策２１ 22 個別対策２２ 23 個別対策２３ 24 個別対策２４ 25 個別対策２５ 26 個別対策２６ 27 個別対策２７ 28 個別対策２８ 29 個別対策２９ 30 個別対策３０
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	45
授業科目	医事コンピュータ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から電子明細書（レセプト）を作成するための基本的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	電子明細書作成の基礎を学ぶ
教科書	医事オペレータ技能認定問題集
特記	
授業計画	1 患者情報の入力 2 初診料の入力 3 再診料の入力 4 在宅医療料の入力 5 医学管理料等①の入力 6 医学管理料等②の入力 7 投薬料①の入力 8 投薬料②の入力 9 投薬料③の入力 10 注射料①の入力 11 注射料②の入力 12 処置料の入力 13 手術料①の入力 14 手術料②の入力 15 検査料①の入力 16 検査料②の入力 17 検査料③の入力 18 画像診断料①の入力 19 画像診断料②の入力 20 処方箋料の入力 21 リハビリテーション料の入力 22 精神科専門療法料の入力 23 入院料①の入力 24 入院料②の入力 25 入院時食事療養費の入力 26 模擬試験Ⅰ 27 模擬試験Ⅱ 28 模擬試験Ⅲ 29 模擬試験Ⅳ 30 模擬試験Ⅴ
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	46
授業科目	ビジネスマナー実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	受付での患者応対マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 身だしなみ（服装、髪型） 2 身だしなみ（メイク）、挨拶① 3 訊く、質問、メモの取り方 4 他己紹介、メモの取り方 5 好感度アップ、挨拶② 6 指示アドバイスを受ける 7 報告・連絡・相談 8 電話応対①（内線） 9 電話応対②（内線） 10 個人情報への配慮 11 守秘義務規定 12 医療機関での個人情報にあたる書類の確認 13 医療費の支払いに関する配慮 14 医療費の計算① 15 医療費の計算② 16 会計受付（初診） 17 会計受付ロールプレイング① 18 会計受付ロールプレイング② 19 確認テスト 20 再診受付 21 再診受付ロールプレイング① 22 再診受付ロールプレイング② 23 再診・会計実技演習① 24 再診・会計実技演習② 25 再診・会計実技演習③ 26 再診・会計実技演習④ 27 再診・会計効果測定① 28 再診・会計効果測定② 29 再診・会計効果測定③ 30 会計受付（再診）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	47
授業科目	企業実習・就職研修
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	１４０時間
授業コマ数	７０コマ
授業概要	入社前の研修出社を通して実務に触れることで、職場でのコミュニケーション力を高め、業務の基本となる知識を学んでいく
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	
授業計画	1～5　現場実習（患者案内） 6～15　現場実習（初診受付） 16～25　現場実習（再診受付） 26～35　現場実習（会計受付） 36～45　現場実習（入退院受付） 46～50　現場実習（総合受付） 51～55　現場実習（外来クラーク） 56～60　現場実習（病棟クラーク） 61～65　現場実習（診療情報管理室） 65～70　現場実習（看護助手）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	48
授業科目	医療請求事務Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	DPC制度について理解し、包括評価に基づいて計算される仕組みや算定方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	DPCとコーディングの要点を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 DPCとは 2 DPC制度誕生の経緯 3 ICDコーディングとは 4 MDCとは 5 DPC包括評価の対象病院 6 DPC包括評価の対象患者 7 DPCコードとは 8 ツリー（樹形）図 9 DPCによる包括評価の仕組み・総報酬額 10 １日あたりの点数設定
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	49
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	社会で必要とされる基本的な所作の習得を目的とする。電話対応、接客、接遇、専門用語などについて学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	共通編・職種編で学習した内容をもとに、マナーや接遇を医療機関・薬局・施設でも実践できるようになる
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　学校と職場の違い・職場のマナー・仕事の進め方 2　「ほう・れん・そう」とは 3　挨拶の種類・笑顔・お辞儀・正しい敬語の使い方 4　電話応対のマナー・電話の受け方・かけ方 5　状況別の電話応対 6　接遇マナーとは・接遇の練習 7　受付応対マナーとは・受付応対の専門知識 8　クレームとは・クレーム応対の方法・病院内でのクレーム応対 9　ケーススタディ 10　効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	50
授業科目	医事コンピュータ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から電子明細書（レセプト）を作成することで入力の基礎を学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	病院内で行う医事コンピュータ入力作業を理解する
教科書	医事オペレータ技能認定問題集
特記	
授業計画	1 出社前実技研修（レセプト管理）① 2 出社前実技研修（レセプト管理）② 3 出社前実技研修（レセプト管理）③ 4 出社前実技研修（レセプト管理）④ 5 出社前実技研修（レセプト管理）⑤ 6 出社前実技研修（レセプト管理）⑥ 7 出社前実技研修（レセプト管理）⑦ 8 出社前実技研修（レセプト管理）⑧ 9 出社前実技研修（レセプト管理）⑨ 10 出社前実技研修（レセプト管理）⑩
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	51
授業科目	電子カルテ実習
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から電子カルテを作成することで入力の基礎を学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	病院内で行う電子カルテ入力作業を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 出社前実技研修（カルテ管理）① 2 出社前実技研修（カルテ管理）② 3 出社前実技研修（カルテ管理）③ 4 出社前実技研修（カルテ管理）④ 5 出社前実技研修（カルテ管理）⑤ 6 出社前実技研修（カルテ管理）⑥ 7 出社前実技研修（カルテ管理）⑦ 8 出社前実技研修（カルテ管理）⑧ 9 出社前実技研修（カルテ管理）⑨ 10 出社前実技研修（カルテ管理）⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	52
授業科目	医療用語Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	医学用語としての略語や造語などを正しく理解し、医学用語に加え医療機関を取り巻く環境で使用される医療用語について学びを深める
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	略語を覚え、医療現場でカルテが読めるようにする
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　カルテ用語演習（ａ～ｂ） 2　カルテ用語演習（ｂ～ｅ） 3　カルテ用語演習（ｅ～ｈ） 4　カルテ用語演習（ｈ～ｎ） 5　カルテ用語演習（ｎ～ｒ） 6　カルテ用語演習（ｐ～ｘ） 7　カルテ用語演習（総まとめ） 8　カルテ用語テスト（Ｎｏ．1～Ｎｏ．3） 9　カルテ用語テスト（Ｎｏ．4～Ｎｏ．6） 10　カルテ用語テスト（Ｎｏ．7～Ｎｏ．10）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	53
授業科目	医療保障
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	①日本の医療保障制度を理解することを目的とする ②医療保障制度、社会保障制度についての概念、概要、法規などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	①保険診療に関する用語を理解し、法別番号・負担割合を覚える ②患者・利用者の立場に立ち、必要とされる制度の理解をする
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1　医療保険① 2　医療保険② 3　後期高齢者医療制度 4　公費負担医療制度 5　介護保険制度 6　自動車損害賠償保障法（自賠責） 7　労働者災害補償保険法（労災） 8　レセプト点検・総括 9　効果測定 10　効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	54
授業科目	患者コミュニケーション概論
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	①患者とのコミュニケーションの取り方、応対方法を理解することを目的とする ②患者の各タイプの特徴、判断のポイントを学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	①医療人として受付応対で必要な書類や確認事項を理解する ②クレームの応対方法を理解し、適切な状況判断と応対ができる ③状況設定内で適切な応対ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　受付応対マナー 2　受付応対の専門知識 3　クレームとは 4　クレーム応対の方法 5　病院内でのクレーム応対 6　クレーム応対練習① 7　クレーム応対練習② 8　ケーススタディ① 9　ケーススタディ② 10　効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	55
授業科目	患者接遇概論
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	患者応対に必要な知識を学習し、対応できるようにする
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社）
特記	
授業計画	1　贈答のマナー・名刺の受け渡し 2　指示アドバスを受ける・院内のコミュニケーション方法 3　電話対応・確認テスト（電話） 4　患者気質別の対応方法 5　患者家族への対応・入院患者への対応 6　外来患者・救急患者への対応 7　高齢受給者証・後期高齢者医療・小児医療証 8　タイプ別　初診ロープレイ 9　タイプ別　再診ロープレイ 10　タイプ別　初診・再診　効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	56
授業科目	臨床医学の基礎知識
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	人体の仕組みについて明らかにし、病気の原因、病態、診断、治療、予後についての臨床医学に関する学問について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	医学知識における基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 生活習慣病・脂質異常症 2 高血圧症・動脈硬化症 3 狭心症・心筋梗塞 4 脳梗塞・脳出血 5 くも膜下出血・感冒症候群 6 扁桃炎・肺炎・気管支炎 7 胃炎・胃・十二指腸潰瘍 8 胃癌・肝炎 9 肝硬変・肝癌 10 胆石症・膵炎
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	57
授業科目	DPC
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	①DPC制度について理解し、様々な医療行為に対する包括評価について学ぶ ②基本的な算定方法・明細書（レセプト）の記載方法についても学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	DPC制度の包括評価の算定について理解する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 DPC包括評価の対象病院 2 DPC包括評価の対象患者 3 DPCコードとは 4 DPCによる包括評価の仕組み・総報酬額 5 １日あたりの点数設定 6 医療機関別係数 7 診療報酬明細書① 8 診療報酬明細書② 9 記載要領① 10 記載要領②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	58
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	Excelの操作方法を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	基本的なExcelの操作ができるようになる
教科書	MOS攻略問題集（日経BP社）
特記	
授業計画	1 Excel（ワークシートやブックの作成と管理①） 2 Excel（ワークシートやブックの作成と管理②） 3 Excel（セルやセル範囲のデータ管理①） 4 Excel（セルやセル範囲のデータ管理②） 5 Excel（テーブルの作成①） 6 Excel（テーブルの作成②） 7 Excel（数式や関数を使用した演算の実行①） 8 Excel（数式や関数を使用した演算の実行②） 9 Excel（グラフやオブジェクトの作成①） 10 Excel（グラフやオブジェクトの作成②）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	59
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	Excel・Wordの操作方法を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	基本的なExcel・Wordの操作ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 Word（文書の作成と管理） 2 Word（一般的なビジネス文書の作成） 3 Word（シンプルなレポートや報告書の作成） 4 Word（表・画像・図形を使った文書の作成①） 5 Word（表・画像・図形を使った文書の作成②） 6 Excel（表作成の基本操作） 7 Excel（数式・関数を活用した集計表の作成） 8 Excel（ワークシート間の集計） 9 Excel（グラフの基本） 10 Excel（データベース機能の利用）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	60
授業科目	医療用語
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	診療記録に記載される内容を理解し専門分野におけるコミュニケーションに対応していくために必要な医学用語を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	病名等の医療独特の難解な漢字の確認を行う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　医療漢字演習（あ行～か行） 2　医療漢字演習（か行） 3　医療漢字演習（か行～さ行） 4　医療漢字演習（さ行） 5　医療漢字演習（さ行～は行） 6　医療漢字演習（は行～ら行） 7　医療漢字演習（総まとめ） 8　医療漢字テスト（Ｎｏ．1～Ｎｏ．3） 9　医療漢字テスト（Ｎｏ．4～Ｎｏ．6） 10　医療漢字テスト（Ｎｏ．7～Ｎｏ．10）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	61
授業科目	音楽療法Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	①総合的な音楽表現力を身につけるため、音に対する集中力を養う ②鍵盤ハーモニカによるアンサンブルやミュージックベルを使用した合奏、ピアノによる連弾や2台ピアノの演奏を経験し、集中力とアンサンブル能力を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	①音に敏感になり、積極的に歌唱し、身体でリズム表現ができるようになってほしい ②アンサンブルを楽しむ気持ちを育んでほしい。
教科書	随時資料を配布する
特記	
授業計画	1　ミュージックベルについて説明 2　ミュージックベル奏1 3　ミュージックベル奏2 4　ミュージックベル奏3 5　ミュージックベル奏4 6　連弾と2台ピアノ（連弾か2台ピアノ演奏の選択） 7　連弾＆2台ピアノ（曲の決定） 8　連弾＆2台ピアノ（各自での練習） 9　連弾＆2台ピアノ（各パートの譜読みが終わったグループから合わせに入る） 10　連弾＆2台ピアノ（各パートの譜読みが終わったグループから合わせに入る） 11　連弾＆2台ピアノ（お互いの音を聴ける耳を養う） 12　連弾＆2台ピアノ（2人の呼吸を合わせて、音楽的に表現できるようにする） 13　連弾＆2台ピアノ（試験に向けての仕上げ） 14　リハーサル 15　実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	出欠状況・習得状況・受講態度・実技試験で行う。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	62
授業科目	音楽療法Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ストレスの多い現代において、音楽療法は新しい学問として、注目されている。デイケア等で、取り入れている病院も多い。また、障害児教育においては、元来音楽療法を行っている。ここで、音楽療法の実践方法を学ぶことで、幅広い視野を育てるものである。
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	①各講義で、内容が異なるため、一回一回を充実させたい ②練習や復習をしっかり行って欲しい
教科書	随時資料を配布する
特記	
授業計画	1 音楽とは？ 2 音楽療法の歴史 3 音楽療法の方法１ 4 音楽療法の方法２ 5 音楽療法の方法３ 6 即興アンサンブル１ 7 即興アンサンブル２ 8 色々な楽器について 9 高齢者へ音楽療法 10 唱歌・歌謡曲について 11 アセスメントについて 12 プログラムの作成 13 歌詞譜の準備・練習 14 実践に向けた練習 15 音楽療法の実践
成績評価方法 （試験実施方法）	出欠状況・習得状況・受講態度・実技試験で行う。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	63
授業科目	芸術療法
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	素材との戯れをキーワードに授業を展開し、日常生活の中で、それを初めて見る子どものように、感じたり考えたりできる、柔軟な感性と思考力（理性）を身につける
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	失敗を恐れず試行錯誤して制作して欲しい
教科書	随時資料を配布し、それを授業に使用する
特記	
授業計画	1 画材の特徴 2 水彩絵の具の扱い方、技法 3 色相環、3原色について 4 クレヨンの種類と年齢にあった選択① 5 クレヨンの種類と年齢にあった選択② 6 はさみとのりの使い方 7 はさみ、のりを使用した貼り絵 8 顔の描き方 9 日常生活で、目にする物の描き方 10 廃材利用の工作 11 発達に合わせた作成物とその方法① 12 コラージュ 13 行事の絵の表現方法 14 カード工作 15 発達に合わせた作成物とその方法②
成績評価方法 （試験実施方法）	出席及び授業中の態度、提出作品等により総合的に判断する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	64
授業科目	作業療法
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	①絵本の読み聞かせの大切さを理解し、集団への読み聞かせの方法を学ぶとともに、季節や行事、子どもへの発達に合わせた絵本を選びながらたくさんの絵本と出会う ②小道具を使ってのお話など言葉の楽しさやお話の世界を伝えるための様々な表現方法を学び、習得する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	①授業では、絵本やお話の楽しさを目いっぱい味わってほしい ②自ら出来るだけ多くの絵本にふれるよう日頃から心がけてほしい
教科書	かわいくたのしいパネルシアター
特記	
授業計画	1 保育教材に関して 2 パネルシアター制作① 3 パネルシアター制作② 4 パネルシアター制作③ 5 パネルシアター制作④ 6 手袋人形制作① 7 手袋人形制作② 8 絵本の読み聞かせや手遊びについて 9 おはなし会（プログラム立案と役割分担） 10 おはなし会（練習） 11 おはなし会（発表） 12 赤ちゃんと楽しむわらべうた 13 お手玉や布を使って遊ぶわらべうた 14 わらべ歌で遊ぶ（実践） 15 子どもに語るおはなし
成績評価方法 （試験実施方法）	出席、授業への参加態度、読み聞かせ実習への取り組みなどにより、総合的に評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	65
授業科目	レクリエーション実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	様々な教材を使ったレクリエーション技術について理解するとともに、発達の段階に応じたレクリエーション材の開発に挑戦し、独自のレクリエーション技術を向上させる
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	恥ずかしがらず、身体全体を使って、全身で子ども達に身体を動かす喜びを伝えられるよう、努力して欲しい
教科書	授業時に随時指示する
特記	
授業計画	1 授業の進め方、トレーニングルームの使用に関する説明 2 リズム運動（創作） 3 リズム運動（発表） 4 ボールを使った運動遊び（制作） 5 ボールを使った運動遊び（発表） 6 フープを使った運動遊び（制作） 7 フープを使った運動遊び（発表） 8 縄を使った運動遊び（制作） 9 縄を使った運動遊び（発表） 10 布を使った運動遊び（制作） 11 布を使った運動遊び（発表） 12 エアバルーンを使った運動遊び 13 親子体操 14 身近なものを使った運動遊び（創作） 15 身近なものを使った運動遊び（発表）・まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	出席状況、受講態度、創作発表水準の総合的な観点により評価する。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	66
授業科目	卒業研究
実務家教員授業	
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	2年間の集大成として、各人がそれぞれにテーマを掲げ、自己の研究課題に取り組み、研究発表により成果を残す
授業の進め方	各人がテーマを掲げテーマに基づいた内容を理解し、自己の研究課題に取り組み、研究発表により成果を残す
達成目標	自身の設定した研究課題に取り組み、発表を行う
教科書	新・保育原理（株）みらい 幼児教育の原理（株）みらい 今に生きる保育者論（株）みらい PCPビジネスマナー
特記	
授業計画	1 卒業研究オリエンテーション 2 課題意識の確認と研究の進め方 3 個人別研究課題の設定 4 研究計画作成 5 調査・研究/個別指導① 6 調査・研究/個別指導② 7 調査・研究/個別指導③ 8 調査・研究/個別指導④ 9 研究経過中間報告会 10 研究計画検討及び修正 11 論文作成と進捗状況報告と修正① 12 論文作成と進捗状況報告と修正② 13 論文作成と進捗状況報告と修正③ 14 研究課題発表会① 15 研究課題発表会②
成績評価方法 （試験実施方法）	レポートと発表内容により評価する。60点以上を合格とする。
備考	